

会 議 報 告 書

1 会議名	平成27年度第 1 回北上市子ども・子育て会議		
2 日 時	平成27年 7 月 1 日 (水) 午後 1 時30分～ 2 時45分	3 場 所	本庁舎 5 階第 1 会議室
4 出席者	<p>【委員】今西界雄会長、小田嶋瑠璃子委員、古舘弘美委員、及川美智子委員（新）、佐藤広昭委員（新）、高橋貴紀委員（新）、佐藤岳洋委員（新）、三田 崇委員（新）、佐藤和美委員（委員出席 9 名、欠席 5 名）</p> <p>（事務局） 6 名、（傍聴者） 1 名</p>		
<p>会議に先立ち、新たに委嘱した 5 名の委員に委嘱状を交付した。</p>			
<p>【内 容】</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 挨拶 （教育長、今西会長）</p> <p>3 議 事 （議事は今西会長の進行）</p> <p style="padding-left: 20px;">*議事の冒頭に、新委員もいることから、子ども・子育て会議の目的や職務について説明</p> <p>(1) 北上市次世代育成支援対策地域行動計画後期計画の実施状況について</p> <p>説明の要旨</p> <p>平成26年度で期間が終了した次世代育成支援対策地域行動計画後期計画（通称：北上っすくすくプラン）の実施状況について、資料に沿って主な項目について報告した。</p> <p>【主な質疑、意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆和賀西小学童の開設準備への支援について <p>小学校の教室を利用させてもらい、図書や遊具など必要物品は持ち寄りや外部支援の活用により和賀西学童保育所の開設準備を進めてきた。7月25日開所予定。市の支援に感謝いたします。</p> ◆市役所本庁舎内の赤ちゃんの駅について <p>市役所本庁舎内の赤ちゃんの駅は、照明が暗く、水道も出ないためオムツを替えたあと手を洗えない。壁などもただのコンクリート。明るくし、壁紙の色や絵など配慮してほしい。</p> <p>回答 → 今年度又は来年度改修の予定である。多目的トイレにおむつ替え設備を考えているが、授乳スペースについては、別コーナーとして検討している。また、今年度赤ちゃんの駅への新たな登録を増やすために、授乳やおむつ替えの設備を設置する事業所に対する補助金を実施する予定である。</p> <p>(2) 保育園、認定こども園、小規模保育事業、幼稚園の利用定員について</p> <p>説明の要旨</p> <p>新たな小規模保育事業の認可を希望する事業者があったことから、現在の利用定員の状況と、子ども・子育て支援事業計画で定めた平成27年度の利用定員の目標値、小規模事業所が新規で開設した場合の利用定員について資料により説明し、協議した。</p>			

協議の結果

新規希望事業者及び利用定員について、特に指摘は無かったことから、認可に向けた事務を進めることで了承を得た。

【主な質疑・意見】

◆待機児童の数え方は？

→国の定めた数え方によるもので、入所申込みをして、なおかつ30分以内で通える範囲に空いている保育所が無い場合を言う。0歳児、1歳児は現時点で既に空きがないので、申込みがあれば全て待機児童となる。2, 3歳児などで空いているところがあっても入らない場合は待機児童とはしない。また、市外の方は含めない。

6月1日現在の待機児童は44名、0歳が6名、1歳が38名である。

◆実際には定員に満たない園もあるのではないか。たとえば 口内保育園、横川目保育園。バスで送迎する等、空いている園に誘導する方策をとれないものか。全ての園に定員まで入れば待機児童解消は進むと思われる。

→定員まで利用されていない園の活用、誘導なども今後の課題である。親がどうすれば保育しやすいのか、環境の整備も必要と考える。また、今年度開所時間の延長を実施したが、それにより遠い保育園に入園が可能になった方もあった。

◆44名の待機児童数に対し、新たに43名が入所できれば、あと1名で解消されるのでは？

→小規模保育所は、いわゆる現在の保育園とは規模や設備に違いがあり、小規模保育所の入所を希望しない家庭も想定されることから、数字通りの解消にはならないと考えている。また、年度末になると待機児童数は100名ほどとなるので、まだ足りない状況である。

4 その他

委員からは特になし

【情報提供】

- ・事務局から、潜在保育士の意見交換会「おしゃべりカフェ」について（6月19日に実施）
- ・部長より、市長と市民が意見交換する「タウンミーティング」について（6月29日に子育てをテーマに実施）